

## 痛みを解消し元気に楽しい人生を！

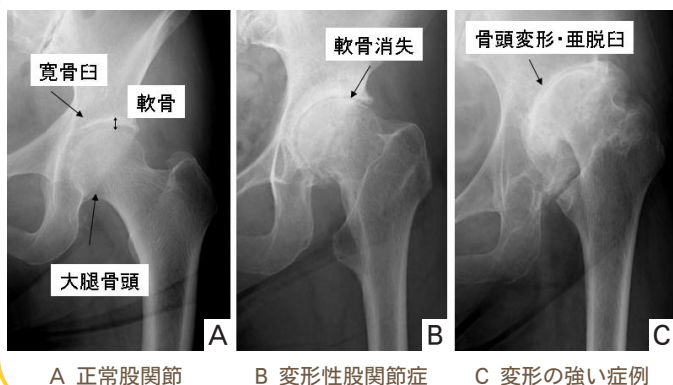
当院における人工股関節全置換術について

整形外科 安藤 渉

障害のある関節を、特殊な金属やセラミックなどでできた人工の関節に入れ替える手術を**人工関節置換術**といい、股関節・膝関節を中心に日本国内で一年間に10万例以上の手術が実施されています。

股関節は歩行時に“要”となる関節です。股関節が傷つくと、歩行時に痛みがおこり、満足に歩くことができなくなります。正常な股関節であれば、骨盤側のおわん状の臼うすのようなくぼみかんこつきゅう「寛骨臼」に、大腿骨の先端の球状の頭だいたいこつとうのような部分「大腿骨頭」がはまり込んでいます。その間の隙間にはレントゲンでは写らない軟骨があります(図1A)。股関節に痛みがある場合には、軟骨がすり減っている**“変形性股関節症”**という病気であることが多いです。図1Bのレントゲン写真のように、軟骨がすり減り隙間がなくなっている方もおられます。また、“変形性”という言葉のとおり、軟骨だけでなく骨そのものが強く変形し、大腿骨頭が脱臼しかけている状態(亜脱臼)の方もおられます(図1C)。

図1 股関節レントゲン写真



当然のことながら個々の患者様により、骨の太さや変形・脱臼の度合いが異なります。変形の程度が強すぎるために“手術は無理です”と言われ続けてこられた方もいらっしゃいますが、当院では様々な種類の人工関節の中から、患者様の関節の状態に応じて使い分けて対応しております(図2)。

図2 当院で使用している人工股関節の一部



多くの人工関節は海外でデザインされていますが、当院では、**日本人の大腿骨の形状に合わせてデザインされた人工関節なども用いています**(図3)。

股関節が亜脱臼し大腿骨の変形が強い場合には、変形を矯正することができる円錐型の人工関節を用いています。また、脱臼と変形の程度がさらに強い場合には、変形を治す手術を併用した人工股関節置換術も行っています。

図3 人工股関節置換術の術前と術後のレントゲン写真



このように、**個々の患者様に合った人工関節を選択することにより、その方に最適な治療を提供しております。**

手術を受けられたほとんどの方が、痛みなく元気に歩けるようになります。痛みなく人生を楽しむために、一度専門医にご相談ください。



理念

基本方針

●● 良質な医療を働く人々に、地域の人々に、そして世界の人々のために ●●

- ・私たちは、働く人々の健康確保のための医療活動、即ち「勤労者医療」の中核的役割を担ってこれを推進します。
- ・私たちは、急性期医療機関として良質で安全・高度な医療の提供を行うとともに、地域の諸機関と連携して地域医療の充実を図り「地域に生き、社会に応える病院」としての発展を目指します。
- ・私たちは、患者様の権利を尊重し、医療の質の向上ならびに患者サービスの充実に励み、「信頼され、親しまれる病院」作りを心がけます。
- ・私たちは、「開かれた皆様の病院」として、ボランティアや有志の方々の病院運営への参加・協力を歓迎します。
- ・私たちは、病院使命の効果的な実現のために「働き甲斐のある職場」作りを行い、運営の効率化と経営の合理化を推進します。



イメージキャラクター  
がんろっこ